ごみ減量への取り組み

県や市ではごみの減量を目指して取り組んでいます。大掃除や宴席でごみが多くなる年末年始、ぜひ皆さんも取り組んでみてください。

残さず食べよう！30（さんまる）・10（いちまる）運動

私たちが排出したもえるごみの約30（バー）％は生ごみです。その中には、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）が含まれます。

長野県では、特に食べ残しが多い「宴会料理」の食べ残しを出さないために「残さず食べよう！30・10運動」を行っています。

幹事の皆さんは、宴会開始時やお開きの前に呼び掛けを行い、出席される皆さんも食べ残しがないように協力をお願いします。

みんなで実践！ 30・10運動

①注文するときは適量を注文しましょう
②最初の30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう
③最後の10分間は席に戻って食べ残しがないようにしましょう

幹事さんの呼び掛け例

○宴会開始時

「本日は、お料理を充分にご用意しました。お酌に回る前に、最初の30分間はお席に着き、ごゆっくりお召し上がりください。」

○お開き前

「最後の10分間は自分の席に戻り、有るを尽くしてお料理をいただき、気持ちよくお開きにしましょう。」

市の取り組み～ごみの削減を目指して～

食品ロス削減啓発コースターの作成

食品ロス削減を啓発するため、4種類のコースターを作成しました。イベント時に配布しているほか、廃棄物対策課（2階6番窓口）および各支所窓口に設置してありますので、ご自由にお持ちください。数に限りがありますので、多くを希望される人は、事前に廃棄物対策課までご相談ください。

生ごみ処理機器等購入費補助金

市内の一般家庭・事業所が購入する生ごみ処理機器・せん定木等粉砕機に対して最大10万円の補助金を交付しています。

リサイクル自転車販売

リサイクルセンターに持ち込まれた不要自転車の修理再生を行い、例年10月（環境フェア）と3月に希望者に販売します。

プラスチック製容器包装専用袋の販売

「プラスチック製容器包装専用袋」を販売しています。従来のもえないごみ・資源物指定袋より容量が大きく、値段も安い使いやすい袋です。ぜひご活用ください。

美しい地球を残すために

ごみ・環境問題は世界規模で考えなければならない重要な課題となっています。私たち一人ひとりが問題に向き合い改善していきましょう。

目標はミニトマト2個分

長野県では、一日に一人あたりのごみの排出量を800（グラム）以下にすることを目標にしています。そのためには1日にミニトマトたった2個分（38（グラム））の減量で達成することができます。ごみ減量の目標として、皆さんのご協力をお願いします。

ごみを減らすことは地球環境を守ること

私たちは生活する上でさまざまなごみを排出し、焼却や埋め立てなどの方法で、限りある地球資源を使って処分しています。焼却に使われる化石燃料が尽き、年々減少している焼却灰の埋め立てる場所がなくなれば、地域がごみだらけになってしまうかもしれません。

私たちの日常生活での努力が、未来の地球環境を守ることにつながっていきます。

ごみは計画的に出しましょう

年末を迎えると、大掃除などで家庭から出るごみが多くなりますが、収集日を確認して計画的にごみを出しましょう。

また、粗大ごみやテレビ・エアコン・冷蔵庫などの家電リサイクル法対象品の処分方法についての問い合わせが多くあります。「ごみ・資源物収集カレンダー」や「家庭用資源物・ごみ出し方の手引き」を確認して正しく処分しましょう。お持ちでない場合は、廃棄物対策課窓口や各支所、市ホームページから入手できます。

分別に迷う場合は、問い合わせください。

ごみ専用フリーダイヤル　℡0120・793・530

ごみを減らすための3R

次の3つのRを徹底しましょう！

① Reduce（リデュース・減らす）
分別などによって排出するごみを減らしましょう。レジ袋や割りばしなど、不要なものはもらわない・買わないこともごみの減量につながります。

② Reuse（リユース・再利用）
必要なくなった衣類や家具などは必要な人に渡しましょう。何度も使えるものは再度利用しましょう。

③ Recycle（リサイクル・再資源化）
分別を徹底し、限りある資源を有効に利用しましょう。